

ワークショップ

ユーザーと企業人がともに考えるケアテクノロジーの開発・実装戦略 概要

到達目標

ケアテクノロジーの開発と実装に関する戦略を立案し、今後、自身と所属組織が取り組むべき課題と解決策を明確にできる

項目	内容
開催日程・会場	令和8年1月25日（日） 13：30～18：00 大手町サンケイプラザ
プログラム	プログラム進行、ファシリテーターは学内講師 1)開会 2)ショート講義 2科目での学びの確認（15分間） 3) アイスブレイク（10分間） 4) グランドルールの説明（5分間） 5) ユーザーおよび企業人で編成されたグループでのコ・デザインによるケアテクノロジーの開発と実装戦略の検討（120分間）模造紙、付箋紙、油性ペン等事務用品を用いてグループごとに検討 ＜検討するテーマ＞ テーマは参加するユーザー・企業人の希望から選定する。希望が出ない場合は、倫理的課題の大きい「居室での見守り」「行方不明者の搜索」「服薬支援」などをテーマとして提示する。 ＜検討では、実装戦略フレームワークEPISを活用する＞ 6) 各グループで検討したケアテクノロジーの開発と実装戦略についての資料のを、リカレント教育プラットフォームへの提出と発表（25分間） 7) 総評（5分間） 8) ケアテックマスター育成プログラムに関するインタビュー（詳細は以下に記載） 9) 閉会
本教育プログラムでの学びに関するインタビュー調査と共有	グループワーク後、同学外会場において同意を得た医療介護従事者15名、および開発企業および販売企業の職員15名を対象として、グループごとにフォーカス・グループ・インタビューを実施する。 フォーカス・グループ・インタビューの時間は1.5時間とする。 インタビュー項目 「本リカレント教育における学びと所属組織での取り組み」 「本教育プログラムへの要望、提案」